

私立大学図書館協会主催 国際図書館協力セミナー

ヨーロッパの大学図書館の 研究支援・学習支援の 最先端にふれる

2021.12/8[水]

15:00~18:00

オンライン開催

使用言語: 英語(同時通訳あり)

(後日加盟館限定ページにも公開予定)

研究・教育活動の多様化に伴い、図書館が果たす役割にも様々な変化が生まれています。本セミナーでは、欧州の大学図書館や国立図書館が、自らの機関内はもとより、ときにはその枠を越えた連携も行いながら、研究者や学生らの活動に貢献されている取り組みについてご紹介をいただきます。

対象 | 私立大学図書館協会加盟館の方

定員 | 先着500名

お申込み | 11月1日(月)9:00~12月2日(木)17:00

〈お申し込み・詳細〉

<https://www.jaspul.org/collegium/cat4/>



QRコードからも
アクセスできます

*zoomウェビナーにて開催します。

*申込時に事前質問を受け付けます(11月15日(月)まで) 詳細はHP参照。

主催 | 私立大学図書館協会 国際図書館協力委員会

企画協力 | 丸善雄松堂株式会社

お問合せ | 私立大学図書館協会 国際図書館協力委員会事務局

(同志社大学図書館 担当:伊藤・山口)

TEL:075-251-3960 / Email:kokusai-ml@jaspul.org

パネリスト

ユトレヒト大学図書館



Dr. Jeroen Bosman

学術コミュニケーション・スペシャリスト
兼地球科学部ファカルティ・リエゾン



Dr. Bianca Kramer

生命科学・医学 サブジェクトスペシャリスト

【講演予定トピック】ユトレヒト大学図書館がオープンサイエンスをサポートする上で果たす役割と、オランダの図書館が一般的にオープンサイエンスをサポートする上でどのような活動をしているか。

ヘルシンキ大学図書館



Ms. Soile Manninen

情報スペシャリスト



Ms. Tuija Korhonen

情報スペシャリスト

【講演予定トピック】ヘルシンキ大学図書館で行われている研究支援や、ITサービス、中央公文書館、研究業務、人事業務、法務業務など他部門と連携した研究データ管理とデータサポートネットワーク、およびオルトメトリクスサービスについて。

ベルリン国立図書館



Dr. Ursula Flache

東アジア部日本担当
サブジェクトスペシャリスト、
日本担当部長

【講演予定トピック】ベルリン国立図書館がどのような役割や機能を持っているのか。とりわけドイツ国内の大学に所属する研究者たちにどのようなサービスを提供しているのか。



Japan Association of Private University Libraries

私立大学図書館協会

ヨーロッパの大学図書館の 研究支援・学習支援の最先端にふれる

2021.12/8[水]15:00~18:00
オンライン開催

使用言語: 英語(同時通訳あり)

■パネリストご経歴

ユトレヒト大学図書館



Dr. Jeroen Bosman

学術コミュニケーション・スペシャリスト
兼地球科学部ファカルティ・リエゾン

オープンサイエンス・スペシャリスト。人文地理学者として学び、司書として25年、学術コミュニケーションの研究とオープンサイエンスの振興に10年の経験を持ち、国際的にも活躍。



Dr. Bianca Kramer

生命科学・医学
サブジェクトスペシャリスト

ライフサイエンスとメディカルサイエンス分野の司書であり、オープンサイエンスのスペシャリスト。神経科学の博士号を持ち、ライブラリアン、学術コミュニケーション、オープンサイエンスの分野で15年の経験を持つ。

ヘルシンキ大学図書館



Ms. Soile Manninen

情報スペシャリスト

フィンランド政府の情報サービス部門でキャリアをスタートさせ、ヘルシンキ大学図書館に勤務する前は、IPR大学センターでリーガルインフォマティクスを担当。

データ保護、著作権、ライセンス、オープンアクセス出版に関連する問題のアドバイザーを務め、国内研究データ管理ネットワークおよびデータ管理ツールDMPTuuliの管理者の一人でもある。

Finnish Learned Societies Federationのオープンデータ(Dynamic DMPs)に関する専門家グループのメンバーや、フィンランドの特殊図書館評議会の議長を歴任(2016年~2017年)。



Ms. Tuija Korhonen

情報スペシャリスト

ヘルシンキ大学図書館(HULib)リサーチサービス部で情報スペシャリスト。データサポート部門では、研究データ管理に関するアドバイスや研究データ管理の指導を行っており、国内データ管理ツールDMPTuuliの管理者の一人でもある。また、HULibの情報リテラシーコースについて、図書館との連絡役や芸術学部の窓口を担当しており、博士候補者のための情報管理コースのコーディネーターも行っている。

Finnish Research Library Associationの理事も務め、Finnish Learned Societies連盟のオープンデータに関するワーキンググループのメンバーも歴任。

ベルリン国立図書館



Dr. Ursula Flache

東アジア部日本担当
サブジェクトスペシャリスト、
日本担当部長

1994年シュツットガルト図書館専門学校を卒業後、1994年よりコンスタンツ大学図書館で司書として勤務。1996年チュービンゲン大学に入学、日本学及び英文学を専攻し2002年修士号取得。ドイツ日本研究所(東京)図書室長(2003-2006)を経て、2008年よりベルリン国立図書館東アジア部日本課主任研究員、2010年より現職。2018年チュービンゲン大学日本学科にて博士号(哲学)を取得。

■プログラム

- 14:45- 視聴者入室開始
- 15:00-15:10 開会の挨拶 および 講師のご紹介
- 15:10-15:50 ユトレヒト大学図書館ご講演
- 15:50-15:55 休憩(5分)
- 15:55-16:35 ヘルシンキ大学図書館ご講演
- 16:35-16:45 休憩(10分)
- 16:45-17:25 ベルリン国立図書館ご講演
- 17:25-17:50 Q&Aセッション
- 17:50-18:00 閉会の挨拶

〈お申し込み・詳細〉

<https://www.jaspul.org/collegium/cat4>

〈お問合せ〉

私立大学図書館協会 国際図書館協力委員会事務局

(同志社大学図書館 担当:伊藤・山口)

TEL:075-251-3960 / Email:kokusai-ml@jaspul.org

